

製品名: Gab 1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11223**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	110 83kDa

抗原情報

遺伝子名	GAB1
別名	GAB1; GRB2-associated-binding protein 1; GRB2-associated binder 1; Growth factor receptor bound protein 2-associated protein 1
遺伝子 ID	2549.0
SwissProt ID	Q13480
免疫原	抗血清はヒト GAB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 611-643

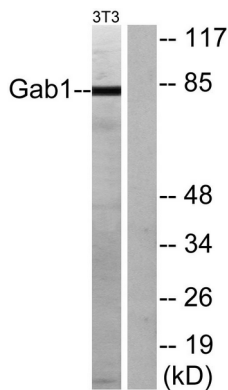
背景

GRB2 関連結合タンパク質 1 (GAB1) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IRS1 様多基質ドッキングタンパク質ファミリーのメンバーです。これは分岐管形成の重要なメディエーターであり、細胞の増殖応答、形質転換、アポトーシスにおいて中心的な役割を果たします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 8 月],機能: おそらく EGF およびインスリン受容体のシグナル伝達に関与しています。 ,PTM: 上皮成長因子受容体 (EGFR) およびインスリン受容体 (INSR) によってチロシン残基がリン酸化されます。GAB1 のチロシンリン酸化は、SH2 ドメインを含むいくつかのタンパク質との相互作用を媒介します。 ,類似性: GAB ファミリーに属します。 ,類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。 ,サブユニット: GRB2 および他の SH2 含有タンパク質と相互作用します。リン酸化 LAT2 と相互作用する。

研究分野

ErbB_HER;神経栄養因子;腎細胞癌;

画像データ



GAB1 (Ab-627) 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが GAB1 (Ab-627) ペプチドでブロッキングされている。